

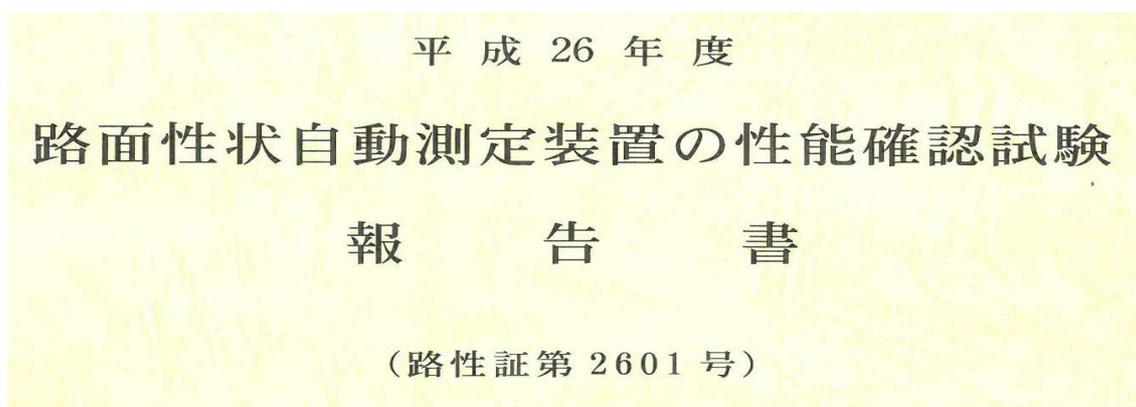
IRI プロファイラが性能認証取得 (H26 年度・路面性状性能確認試験)
「路性証第 2601 号」構成の 1 要素測定器 (平たん性)

1. はじめに

Surftechno.jp と株式会社ユビックの共有設備：「IRI プロファイラ」を(有)安芸建工の測定車輻に取りつけて、平成 26 年 7 月末に実施された「平成 26 年度・路面性状自動測定装置の性能確認試験：土木研究センター」において、「距離精度&平たん性測定精度」の試験結果が「**認証範囲内であるとの認証**」を受けました。

2. 確認試験と結果

認証を下記の通り取得した。



3. 性能確認結果

測定車輻は 4 項目の受審をしましたが、①距離精度、④平たん性に関して関係があります。(協働にて受審車輻の使用は可能です、**有効期限：平成 27 年 12 月 1 日**)

~~3.~~ 性能確認結果

試験項目	認定範囲	昼夜別	確認結果
距離測定精度	光学測量機による距離の測定値に対し、 $\pm 0.3\%$ 以内の精度である。	昼間	—
		夜間	合格
ひび割れ測定精度	幅 1mm 以上のひび割れが識別可能な精度である。	昼間	—
		夜間	合格
わだち掘れ測定精度	横断プロファイルメータによるわだち掘れ深さの測定値に対し、$\pm 3\text{mm}$以内の精度である。	昼間	—
		夜間	合格
平たん性測定精度	縦断プロファイルメータによる標準偏差の測定値に対し、 $\pm 30\%$ 以内の精度である。	昼間	—
		夜間	合格

4. 各測定結果の詳細

「路性証第2601号」から下記に転記した。「**認定範囲：真値に対し±30%以下**」

(1) 平たん性測定結果の比較（夜間測定、速度 30km/h）

表-3.3.1 平たん性測定結果の比較（第1工区、第2工区）夜間測定、速度 30km/h

項目 工区	基準値（人力測定値）		合格範囲 （人力測定値の 最小値-30%~最大値+30%）	自動測定装置 による測定値	誤差	区間長
	最小値	最大値				
第1工区	0.75 mm	0.94 mm	0.53 ~ 1.22 mm	1.03 mm	9.57 %	100m
第2工区	0.96 mm	1.09 mm	0.67 ~ 1.42 mm	1.07 mm	人力測定値内	100m
第1+2工区	0.84 mm	0.99 mm	0.59 ~ 1.29 mm	1.13 mm	14.14 %	200m

- ① 基準値には、基準測線および2本の補助測線における各平たん性の中の、最大値並びに最小値を示す。
- ② 合格範囲には、①で示した最大値+30%および最小値-30%の値を示す。
- ③ 誤差には、①で示した最大値~最小値の範囲内であれば「人力測定値内」と記述し、この範囲を超えた場合は、その差を記述する。
- ④ 平たん性測定性能の認定範囲は、基準値（3mプロフィールメータで測定した基準測線と2本の補助測線の平たん性の最大値および最小値）の最大値+30%から最小値-30%の範囲内の精度であること。

(2) 平たん性測定結果の比較（夜間測定、速度 50km/h）

表-3.3.2 平たん性測定結果の比較（第1工区、第2工区）夜間測定、速度 50km/h

項目 工区	基準値（人力測定値）		合格範囲 （人力測定値の 最小値-30%~最大値+30%）	自動測定装置 による測定値	誤差	区間長
	最小値	最大値				
第1工区	0.75 mm	0.94 mm	0.53 ~ 1.22 mm	1.02 mm	8.51 %	100m
第2工区	0.96 mm	1.09 mm	0.67 ~ 1.42 mm	1.05 mm	人力測定値内	100m
第1+2工区	0.84 mm	0.99 mm	0.59 ~ 1.29 mm	1.04 mm	5.05 %	200m

4. 2 距離精度：接触型第5輪方式である。「**認証範囲：0.3%以下**」

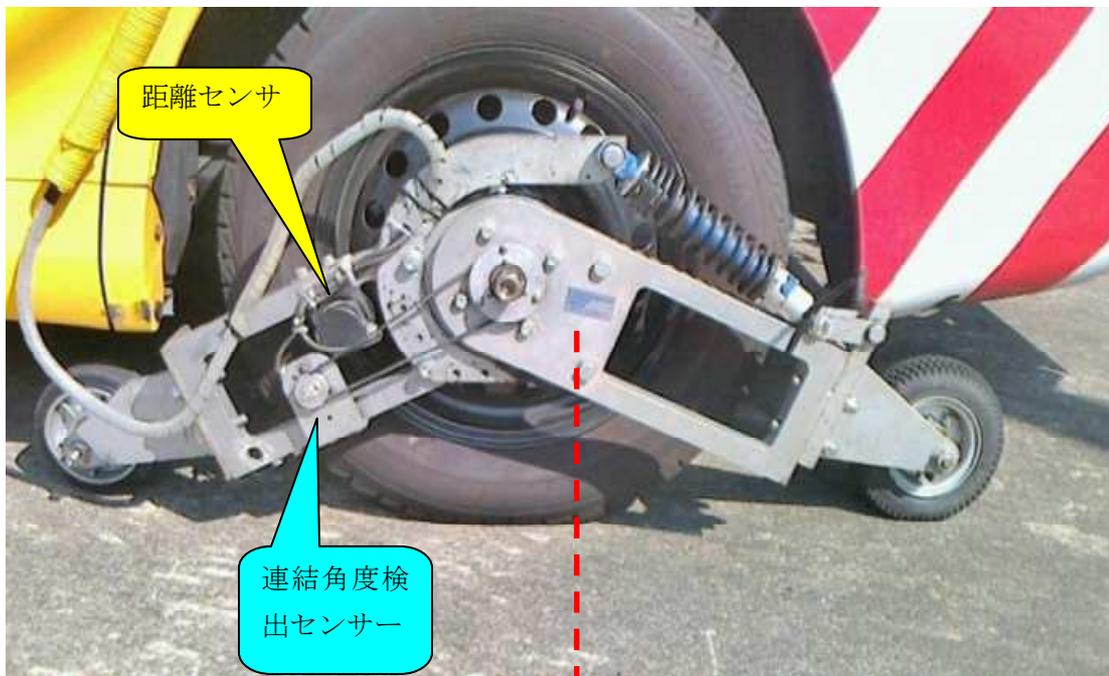
(1) 距離測定結果の比較（夜間測定、速度 30km/h）

表-3.1 距離測定結果の比較（第1工区）夜間測定、速度 30km/h

項目 工区	基準値 （人力測定値）	自動測定装置 による測定値	誤差	車両の状態	
				始点	終点
第1工区	1002.687	1003.44 m	0.075 %	停止	停止

5. 受審済装置の概観

(1) 測定装置の概観を下記に示す。(OWP 側の後輪軸延長して取り付け)



(2) 受審済装置シールの拡大表示を下記。



以上。

文責：2 Ke1115 福原敏彦